

# 地域と「もっと」つながります

— 地域に開かれた大学を目指して —

名桜大学は、地域に開かれた大学として、北部地域の住民並びに沖縄県民の生活・文化の向上に寄与するため、地域との連携を深め教育と研究の両面から貢献することを目指し、様々なプログラムに取り組んできました。

これからも、地域社会と大学がより効果的な連携を進めていくため、「大学と地域をつなぐ総合窓口」として、平成25年4月よりエクステンションセンターを開設しました。

エクステンションセンターは、①名桜大学における教育研究の成果を積極的に地域社会へ還元する。②地域への貢献及び地域との連携活動を推進することを実現していきます。

平成29年4月より従来の機能をさらに強化することを目的にエクステンションセンターから地域連携機構に改組いたしました。

## 名桜大学地域連携機構基本方針

### 1 目的

名桜大学は、教育研究を広く社会に開放し、地域との連携を深め、生涯学習の推進及び地域貢献に努め、地域に開かれた大学として、沖縄県北部地域の住民並びに沖縄県民の生活及び文化の向上に寄与するため、地域連携機構を設置する。

### 2 基本方針

- (1) 大学の教育研究を広く社会に開放し、地域との連携を深め、生涯学習の推進及び地域貢献に努める。
- (2) 教育研究成果を積極的に地域社会へ還元し、地域への貢献及び地域との連携活動を推進する。
- (3) 開かれた大学として、地域住民及び地域活動と連携を深める。
- (4) 教職員、学生の地域貢献活動を支援するとともに、その成果を地域に公表する。
- (5) 自治体(沖縄県北部12市町村)との連携を双方向的に、地域の課題解決のため、連携及び提言を行う。

### 3 具体的な活動

- (1) 公開講座、出前講座、学習支援、健康支援、現職教員講習及び高大連携等を推進する。
- (2) 地域住民に幅広い学習機会を提供し、その活用の促進及び充実を図る。